



令和8年1月1日現在
世帯数 : 938世帯
人口 : 1615人
男 : 769人
女 : 846人

令和7年度餅つき大会 次の世代への思い出づくり

12月13日(土)、屋内で作業をしていると汗ばんでくるような良い天気で、餅つき日和となりました。

餅つき大会実行委員会が主催し、公民館文化委員会と、子ども会育成会、民生児童委員、日赤奉仕団などが中心で、つくば開成高校・松本大学の学生も参加して運営しました。餅をつく場所は今回初めてとなる4階の工作室で、防水のシートを敷き下の階への配慮としてダンボール、最後に臼をのせ、かたわらに杵(大と小型2本)を用意しました。調理室でもち米を蒸し臼に入れスタート、餅は粒を細かくする前工程を念入りにして、つぶつぶが残らなく食感を良くするようにしました。

いよいよ子ども達の餅つき体験、親と共につく、子どもが2人でつく、1人でもよろ

ろしながらつく、時にはふろしんくともありました。その後父親が餅つきとはこうあるべきと、見本になる力強いつきかたも見受けられました。力水をしっかりと付け、つきあがりとなったのです。

この様子を見てみると、子どもたちも親を「すごいな」と思ったのではないかと、感じました。

大人が昼食の準備をする間、子どもたちは別の部屋で正月遊びを体験し大いに盛り上がりついでいました。

昼食会場では、餅にごまやきなこをまぶし、豚汁、漬物を盛り付け、人数の確認、配膳を手の空いた人全員で行い、準備万端整えたのです。

参加者は親10名、子ども15名。良い体験をして、思い出として、残って欲しいと思います。

4階での餅つきですが、土曜日であったため、3階に居た人が少なかったこともあり問題とはならなかったもので、ほっとしました。



皿回しにみんな夢中!



立場や世代を超えて一緒に昼食会



親子で、兄妹で、力を合わせてお餅つき!



第二地区公民館 事業だより

11月～12月にかけて行われた第一地区公民館事業を一部ご紹介します。

▼松代大本営視察研修

11月19日(水)、庁用バスで松代大本営地下壕を視察しました。戦争遺産に触れて平和について学んだあと、昼食は松代名物の長芋料理をいただきました。



▼そば打ち講座

12月3日(水)、毎年恒例のそば打ち講座を実施しました。地域のそば打ち名人である神明町町の田中修さんを講師にお招きし、本格そば打ちを楽しみました。



第一地区公民館
の最新講座情報
はHPをチェック!



Mウイング・駅前会館合同 避難所開設運営訓練

12月14日(日) 午前9時30分から、Mウイング6階ホール及び中央体育館で、Mウイング・駅前会館合同避難所開設運営訓練を実施し、町会役員など50人が参加した。

今回の訓練は、実際に避難してきた人たちが、開設の手引書に当たる「アクションカード」に沿って避難所を開設するという設定。事前に、総務・情報、避難者・施設管理、給食・物資、救護・衛生の4つの班に分けられた参加者は、班長を中心に、アクションカードを確認しながら、それぞれの役割を果たしていた。



事前説明に耳を傾ける参加者



専門家と建物の安全確認を行う



簡易トイレキットの展示



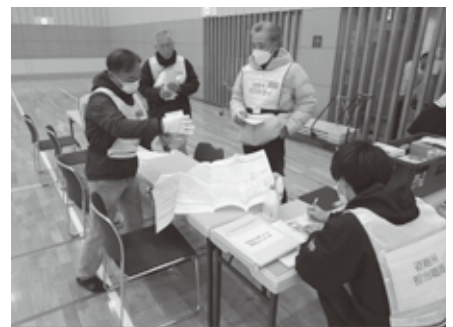
使えても、下水管が無事かどうかはわからないので、点検し、許可が出るまでは水洗トイレは使用せず、簡易トイレキットを使うなど、他住民への配慮が必要などと説明した。問題点が見えてきただけでも意義のある訓練となった。今後もさらに、訓練を重ねる必要性も指摘されていた。



防災倉庫の備品を確認



仮設トイレ用のテント組み立て



避難者受付の準備を進める

歴代人気の総理大臣で、例えば小泉氏や安倍氏は、米大統領に結構軽いパフォーマンスを演じていた。そういった「軽さ」が海外でも国内でも結構受けていた。今度の高市総理はそんな「軽さ」では前記2人を凌駕しているようだ。米国だけでなく、世界の首長にも誰彼と無くその「軽さ」を発揮していた。米軍兵士に対し飛び跳ねてはしゃぐパフォーマンズも見せた。国内で「媚びている」「軽すぎる」等と批判はあるが、少数派である。海外では概ね好評で、国内の「高市フィーバー」が国際的広がりもみせているとか。「関西のおばさん」的ノリで世界のトップに語りかける様子は、なんか異次元的な情景である。一方「日本を戦争に巻き込むつもりか」と批判する野党議員に高市総理は「そうではない」旨の答弁をしていたが、この「現地妻」呼ばわりされた女性首相は、心中に「必要なら自衛隊投入し断固日本を護る」という凄みも感じさせる。中国が大騒ぎするのも宜なるかな。世論も「義のある戦争辞せず」を容認しそうで、戦後初めての異次元状況だろう。

電車通り